



「会社を辞める理由！！」



会社を辞める理由で一番多いのは一体何であろうか？

給料が安い。希望の仕事に配属してもらえない。将来が不安。会社に将来性が無い。自分を正しく評価してもらえない。上司と気が合わない。職場の人間関係がうまくいかない。などなど沢山の理由があると思う。

しかしながら、会社から「解雇」される場合は別として、自己都合で退職する場合の理由として書かれているのは「一身上の都合」というのがほとんどであろう。直属の上司が辞める本人に本当の理由を問い質してみても、もう辞めると覚悟した会社のことや職場のことに対しての「本音」はなかなか言わないのが普通である。言ったところで辞める覚悟をしている本人にとって、あまり意味が無いからである。喧嘩別れでもしない限り、そこで本音が語られることは少ない。

経営コンサルタントという職業柄、クライアント企業で社員が辞める場面に遭遇することもあるが、やはり当事者ではない第三者ということも手伝って、素直に辞めていく本人の気持ちを聞くこともある。その「理由」で一番多いのは、一つは直属の上司との関係、二つ目は職場の中での人間関係である。この理由については少なくともここ30年くらいはまったく変わっていないように思う。時代や環境がいくら変わっていても、「組織」というのは人間集団の営みであるからである。給料や仕事の内容は会社に入ってくる前にすでに把握していることでもある。また、会社の成長度合いや業績などはその時の状況や背景によって左右される部分でもある。しかし、直属の上司との関係や職場の中での人間関係は、辞めていく「大きな要因」になっていくようである。

不思議なことである。

上司との関係や職場の中での人間関係がそれほどの悩みのタネになるとは思えないからである。どうしてそんなことで悩むのであろうか？上司との関係や職場の中での人間関係がうまくいこうがいくまいが、黙々と仕事に励めば良いではないか？会社を辞めない人間は職場の人間関係に満足しているのであろうか？それとも、どんな上司とも、どんな人間とも良好な関係を築き上げているとでも言うのであろうか？そんな訳は無かろう！！

会社は仲良しクラブでは無い！！売り上げを上げ、利益を創出していく目的機能集団である。根本的なところで勘違いをしていると思う。人間関係など「鏡」のようなものであり、誰とでもうまくやれる人間は、どんなところでもうまくやれる。ダメな人間はどこに行ってもダメである。要するに自分の性癖や人間性が居心地を悪くしてしまっているのであり、本人はそのことに気づいていない。職場の人間関係で悩み、それが仕事に差し支えているのであるならば、今一度自分を振り返ってみる必要がある。今の会社、今の職場でうまくやれないなら、他のところでもうまくやれるはずが無い。人間関係なんか気にする必要は無いということである。そんなことで仕事がきちんと出来ないというのは「甘え」以外の何物でもないと思う。上司がどうのこうの、周囲がどうのこうのと条件をつけるのは、自分の能力の無さの言訳でもある。もし、職場の中でそんな人がいたならば、それを良い機会にして自己改革にチャレンジしてみても如何であろうか？